

休会通信③

幹事報告

R2.4.30

幹事 櫻井

「それでは、2019～2020 年度 第 30 回 通算 1959 回 幹事報告を致します。」

一、 令和 2 年 4 月 2 3 日高砂市役所市長室にて、佐野会長、青柳クラブ会報委員長と私、櫻井の 3 名で、都倉市長表敬訪問をして参りました。

都倉市長は、毎日多忙な職務にプラスして、新型コロナウイルス対策と、就任早々に、大変な責務に頑張っておられます。

我、青松ロータリークラブからの市長と言うことで、健康で頑張っていていただくことを願って、『会員一同応援しています。』との報告をして参りました。

都倉市長も気さくに対応していただき、楽しい時間を 4 名で過ごして参りました。

以上、報告致します。

まだ、コロナの影響で自粛が続きますが、皆様におかれましては、くれぐれも健康に気を付けられ、例会でお会いすることを、心から願っております



地区補助金で防護服寄贈

すでにファックスでお知らせしていますが、ガバナー事務所より急遽新型コロナに関する奉仕プロジェクトの募集の案内が届きました。予定されていた地区補助金プロジェクトが新型コロナのために中止になり、予算に余裕が生じたためです。

高砂RC協谷会長より地区補助金を利用して高砂医師会に防護服を寄贈する計画があり、その共同提唱クラブへのお誘いを受けその提案に同意しました。寄贈品は防護服9000枚で総額495000円です。地区補助金から8割出ますので当会の支出は5万円程度になります。

本来なら理事会の承認を受けないといけないところですが、締め切りまでに時間ありませんでしたので、独断で提案に同意しました。どうかご了承ください。

会長の時間

日本人の発明品パルスオキシメーター

新型コロナの終息がいまだに見えませんが皆様いかがお過ごしでしょうか。今回の会長の時間は新型コロナの重篤度を判定するのに重要な役割を果たしているパルスオキシメーターです。

パルスオキシメーターは動脈血の酸素飽和度を簡便に計測できるため、麻酔管理やICUでの患者のモニターのために用いられるほか、在宅酸素療法の患者指導などにも使用されています。体に針を刺したり切ったりすること無く酸素飽和度の測定を行う事が可能な計測器です。1974年3月日本光電工業株式会社の青柳卓雄らにより、パルスオキシメーターの原理に関する特許「光学式血液測定装置」が出願され、それに遅れること1ヶ月弱の1974年4月パルスオキシメーターの開発を独自に進めていたミノルタカメラより別の特許出願がなされました。これらの発明は後に全世界の患者の安全に計り知れないほど大きな進歩をもたらしました。それまでは患者の呼吸状態は、動脈血を採血して血液ガス分析をしたりチアノーゼの有無を目で見て判断することにより管理されていました。この機械は連続的にしかも患者に負担をかけることなく動脈血の状態をモニターできるため、意識のない患者や苦痛を訴えることができない患者の呼吸状態の監視に有用であることが認められました。

私も大学を卒業して入局したころは動脈血を採取して測定したこともあります。パルスオキシメーターが導入されたころあまりにも簡便に測定できるため最初は疑いながら使っていたことを思い出します。今回新型コロナで改めて注目されている測定器ですが、その発明者の青柳卓雄さんは新型コロナが蔓延している令和2年4月18日老衰で死去されました。